

シリーズ

「わがまちの下水道」

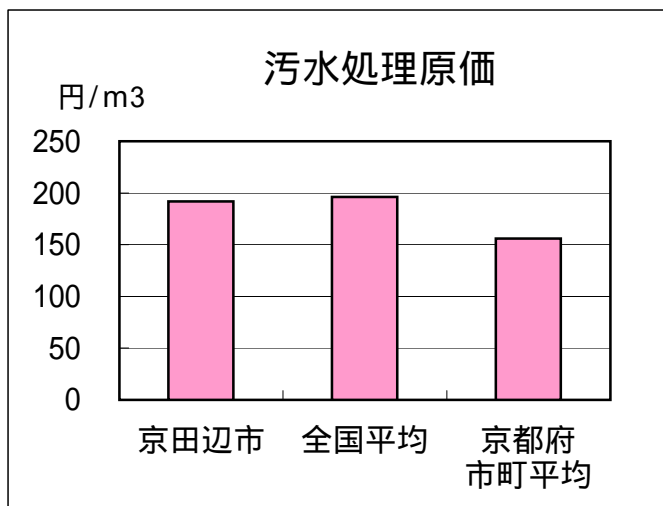
第5回 下水道経営上の指標

- 1 . 汚水処理原価
- 2 . 使用料単価
- 3 . 使用料回収率
- 4 . 20 m³ / 月の使用料（一般家庭使用料）
- 5 . 総合的な分析

1. 汚水処理原価

下水道の経営状況を分析するためには、いろいろな指標を使います。汚水処理原価もそのひとつで、これにより、汚水量 1 m³あたりどれだけのコストがかかっているかが分かります。

本市は全国平均よりも低く、比較的 low コストで運営していると考えられます。

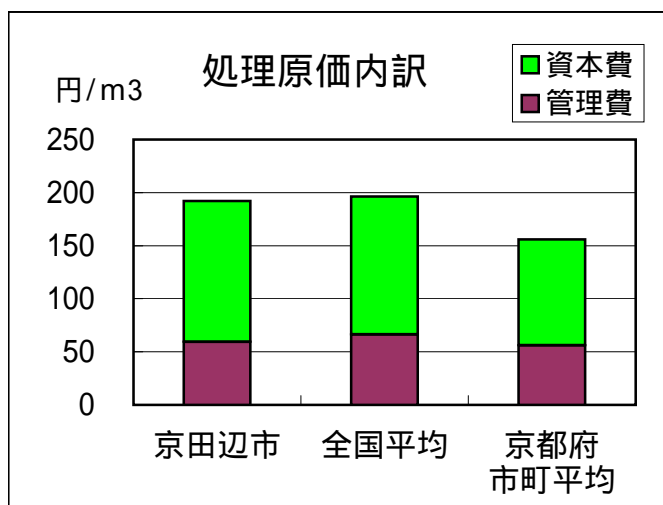


区分	汚水処理原価 (円/m ³)
京田辺市	191.95
全国平均	196.23
京都府 市町平均	155.89

データは平成17年度版

処理原価の内訳を大きく分類すると、施設の維持管理費（管理費）と市債の償還費（資本費）になります。

下水道を建設したときの起債を償還するため、資本費の占める割合がいずれも高くなっています。



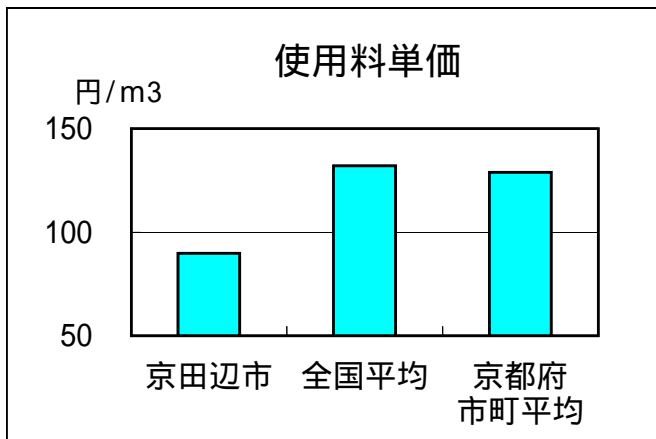
区分	管理費 (円/m ³)	資本費 (円/m ³)
京田辺市	59.32	132.63
全国平均	66.36	129.87
京都府 市町平均	56.24	99.66

データは平成17年度版

2. 使用料単価

使用料単価とは、使用料収入総額を有収水量で割ったもので、1 m³あたりの使用料収入額となります。

本市はこれも全国平均よりも低く、使用料が安価であることが分かります。

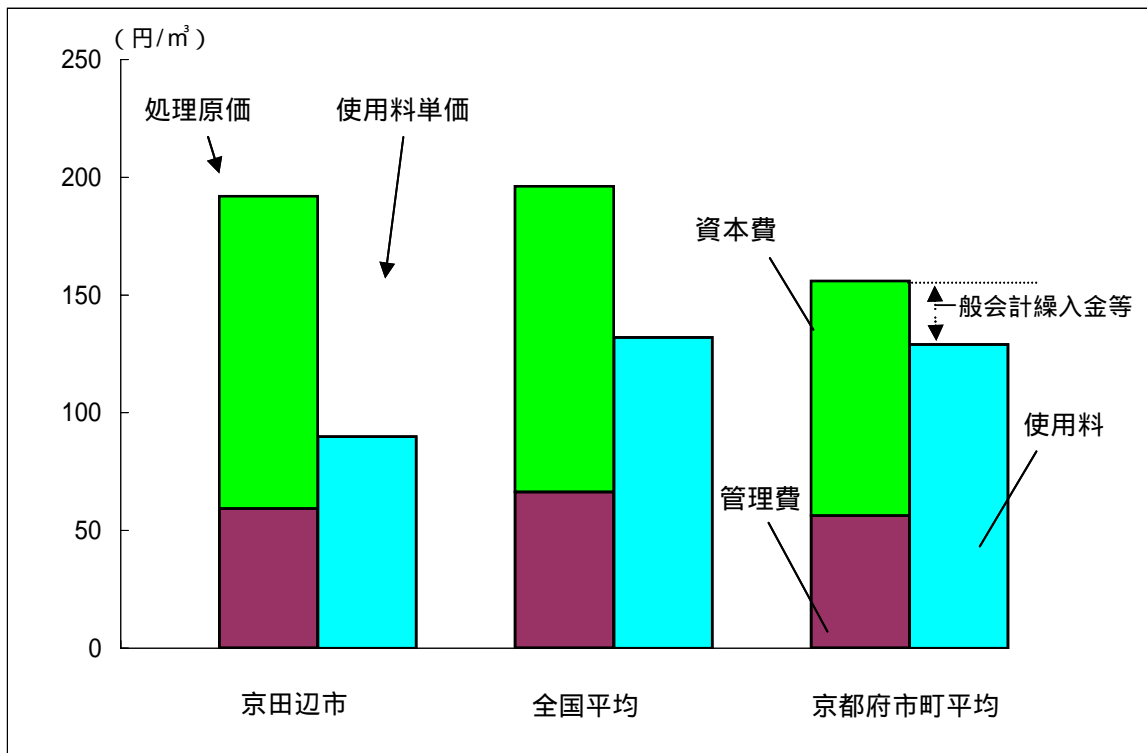


区分	使用料単価 (円/m ³)
京田辺市	89.81
全国平均	132.05
京都府市町平均	128.96

データは平成17年度版

処理原価と使用料単価を並べて比較してみます。

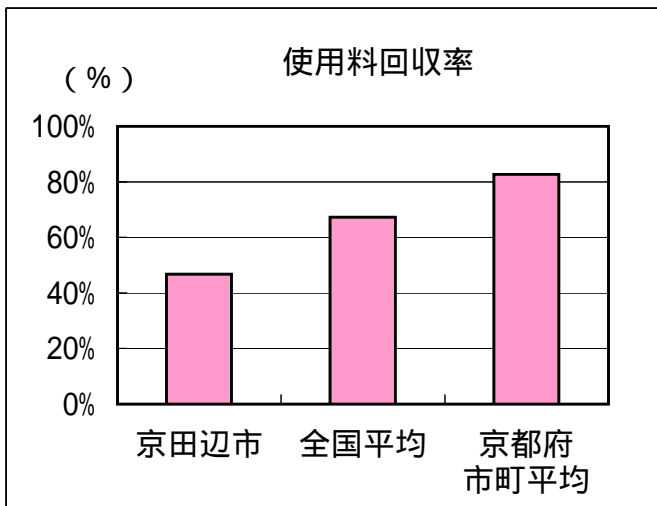
いずれも、管理費以上に使用料収入があるため、管理費はまかなえています。起債の償還費（資本費）はほとんどが財源不足となっている状態が分かります。



3. 使用料回収率

処理原価というコストに対して、財源となる使用料がどれくらい収入できているか、その割合を示すのが使用料回収率です。（使用料単価/汚水処理原価）

本市は使用料が安いいため、全国平均、府内市町平均を下回っていて、所要経費の半分すら回収できていません。



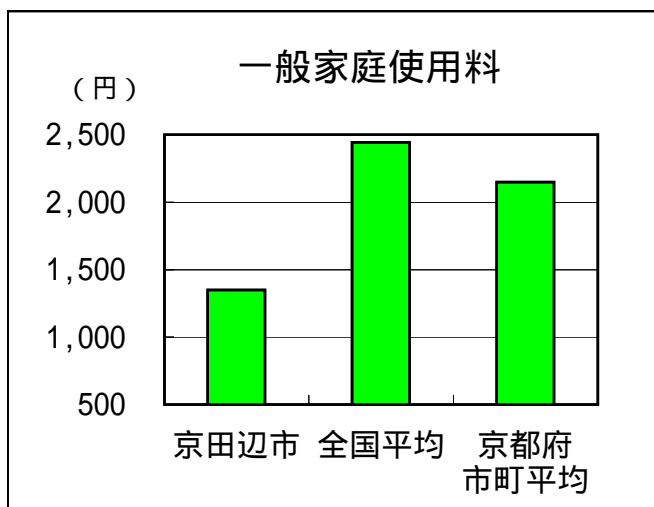
区分	使用料回収率
京田辺市	46.8%
全国平均	67.3%
京都府市町平均	82.7%

データは平成17年度版

4. 20 m³/月の使用料（一般家庭使用料）

平均的な一般家庭の使用水量は20 m³/月ですが、この水量での使用料金額は、一般家庭の負担額を単純比較するためによく使われます。

京田辺市は平成17年度現在では、全国平均や府市町平均よりもかなり安く、京都府内で2番目に安いです。



区分	一般家庭使用料 (円)
京田辺市	1,350
全国平均	2,442
京都府市町平均	2,150

データは平成17年度版

5 . 総合的な分析

今までの指標を全国の平均と比較してみます。

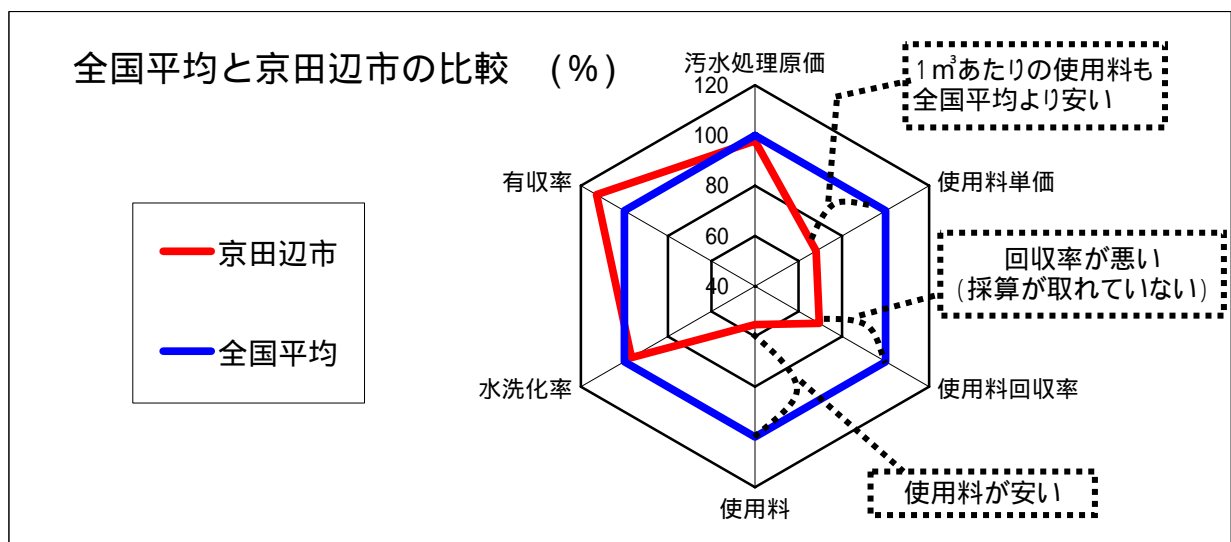
青い線が平均値、赤い線が本市の指標で、外側へ広がると指標の値が高いことを示しています。

本市の汚水処理原価は平均より下回っており、決してコストが高い訳ではありません。また、水洗化率も平均程度であり、下水道を使用されている住民の方々の割合も少ない訳ではないということです。

ところが、使用料や使用料回収率、使用料単価は低い値を示しています。

つまり、低コストでたくさんの方々に使用頂いているにもかかわらず、元が取れていないという状態です。これは、使用料が低いためと考えられます。その結果、全国平均と比較してバランスの良くない形となっているのです。

なお、本市では、昭和61年の供用開始以来、一度も使用料を改定していません。



区分	単位	全国平均	京田辺市	京田辺市 / 全国平均 × 100 (%)
汚水処理原価	円/m ³	196.23	191.95	97.8
使用料単価	円/m ³	132.05	89.8	68.0
使用料回収率	%	67.3	46.8	69.5
使用料	円/月	2,442	1,350	55.3
水洗化率	%	92.8	89.8	96.8
有収率	%	82.3	92.9	112.9

水洗化率 ... 供用開始済み地域における下水道に接続された人の割合

有収率 ... 処理した水量のうち、使用料収入の対象となっている水量。無届け接続や誤接続があったり、地下水や雨水の浸入があると低下する。